

進めよう!

「小郡の子ども共育 10の実践」

～志をもち、新しい時代を切り拓く
たくましい小都市民の育成～

問合せ先 教務課教務係
☎72-2111内線515

❖家庭での3つの実践❖

大人(親)になるために自立を!

- ①規則正しい生活習慣を
- ②家庭での楽しいだんらんを
- ③家族で役割やルールを決めて

❖地域での4つの実践❖

地域の一員としての自覚を!

- ①地域で子ども安全を守ろう
- ②子どもの居場所をつくろう
- ③生活体験を豊かにしよう
- ④地域の産業に学ばせよう

❖学校での3つの実践❖

生きる力の育成を!

- ①確かな学力を育てよう
- ②豊かな心を育てよう
- ③健やかな心を育てよう

「小郡の子ども共育10の実践」は、「学校・家庭・地域」三者の役割を明確にし、相互に連携・協力して子どもを育てることを推進するものです。その学校・家庭・地域の取組みの一部を紹介します。

小郡中学校では、福岡県の「鍛えよう!ほめよう!学校の教育力向上プロジェクト」の指定をうけ、健康課と連携し、三年生が、「赤ちゃんふれあい体験」を行いました。市内の保健師や助産師などをゲストイヤーチャーに招き、妊娠服体験等で、母体や出産についての理解を深めました。また、生徒たちは、4か月、10か月、3歳1か月検診に参加し、赤ちゃんを手作りの玩具であやしながらふれあうと同時に母親との会話を通して、子育ての喜びや苦いきます。ご協力をお願いします。

「小郡の子ども共育10の実践」は、「学校・家庭・地域」三者の役割を明確にし、相互に連携・協力して子どもを育てることを推進するものです。その学校・家庭・地域の取組みの一部を紹介します。

家庭では、子どもの自立を促すため、PTAと生涯学習課が連携して、早く寝ることと食事の時にテレビを消す「ねるちゃん、けすちゃん」を保育園、幼稚園、小学校一年生で実施したり、各家庭で親子読書(家読)などに取り組んだりしています。

地域では、通学合宿を小郡小学校区で行いました。友だちと寝食を共にすることで、絆が強まり、また、「もらい湯」等の経験で、地域の人とのふれあいが深まり、地域の一員としての自覚を育むことができました。ほかにも、職場体験、地域行事への参加等を行っています。

地域では、通学合宿を小郡小学校区で行いました。友だちと寝食を共にすることで、絆が強まり、また、「もらい湯」等の経験で、地域の人とのふれあいが深まり、地域の一員としての自覚を育むことができました。ほかにも、職場体験、地域行事への参加等を行っています。

シリーズ17

エコのすゝめ

小郡市役所でも
実施しました!



緑のカーテンを始めよう!!

緑のカーテンとは、アサガオやゴーヤのようにつるを何かに巻き付けて伸びる種類の植物(つる性植物)で作る、

自然のカーテンのことです。夏の暑い日には、葉の間を天然のエアコンのように涼しい風が吹き抜けてきます。また、野菜の収穫もできるので、とても楽しいカーテンです。

窓の前に葉を生い茂らせることで、部屋に入つてくる日光を少なくすることができます。また、人間が暑いときに汗をかくように、植物も葉から水分を蒸発させて熱を下げています(葉の蒸散作用)。

これにより空気の温度が下げられて、涼しい風が部屋の中に入つくるのです。

どんな所でできるの?

緑のカーテンとして育てる植物はプランターで育てる 것도できるので、広いスペースや特別な設備は必要ありません。支柱とネットを立てることができれば、マンションのベランダでもできます。

ゴーヤの種を配布します

詳細は23Pをご覧ください

●問合せ先
生活環境課環境係
☎72-2111
内線152

